



海と灯台プロジェクトの推進  
事業完了報告書

2023年3月31日  
一般社団法人海洋文化創造フォーラム

# 1. 灯台利活用のモデル事業の実施 「新たな灯台利活用モデル事業」

# 新たな灯台利活用モデル事業（事業概要）

事業目的	灯台の様々な利活用モデルを創出することで、 灯台の存在意義を高め、灯台を起点とする海洋文化を次世代へと継承していく
事業期間	2022年9月16日～2023年3月31日
事業数	<p>本プロジェクトの趣旨に賛同し、 海と灯台プロジェクトが掲げる5つのゴール（※）の達成に資する内容を行う 「灯台の文化的価値を探究する調査研究事業」に対して助成を実施。</p> <p>（※）5つのゴール</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 灯台をシンボルとした美しい海の景観を地域の誇りに</li><li>2. 郷土の海にまつわる歴史・文化を洗練された物語に</li><li>3. 海洋環境の保全を組み込み、先駆的地域としてのロールモデルに</li><li>4. 異分野・異業種と連携した“灯台コラボレーション”を地域間の絆に</li><li>5. 特別感のある時間・空間デザインへの挑戦を世界に</li></ol> <p>→ <u>合計12事業（全国10道県、計12灯台）</u> <u>助成総額：109,040,000円</u></p>

# 新たな灯台利活用モデル事業（事業一覧）

## 潮岬灯台（和歌山県串本町）

事業名：潮岬灯台旧官舎利活用プロジェクト

### 旧官舎を改修、日本初の「泊まれる灯台」に！

耐震調査や改修案、滞在中のプログラムづくり、海保の許諾や、地域での継続運営方法を検討



## 室戸岬灯台（高知県室戸市）

事業名：室戸岬灯台・旧官舎利活用推進事業

### 官舎跡を活用した地域一体型イベントの検討

調査研究を実施、結果や灯台周辺の魅力を生かした食イベントや散策ツアーを試験実施



## 恵山岬灯台（北海道函館市）

事業名：「恵山岬灯台」を核とした函館東部エリア活性化事業

### 「灯台の宿」「灯台サウナ」など灯台体験メニュー開発

知られざる恵山岬灯台の物語を発掘し、ツアー等の体験メニューを開発、実施体制構築



## 佐田岬灯台（愛媛県伊方町）

事業名：佐田岬灯台エリア再開発プロジェクト

### 佐田岬半島灯台巡りのルートプログラムづくり

周辺10灯台を調査、グランピングやアクティビティ実証実験、ルートづくり、郷土館との連携



## 生地鼻灯台（富山県黒部市）

事業名：生地エリア魅力発掘プロジェクト

### 官舎跡の活用含む宿泊体験プログラムづくり

灯台資料館と官舎跡を活用した宿泊施設の整備検討、生地地区周遊ツアー開発、実施体制構築



## 長尾鼻灯台（鳥取県鳥取市）

事業名：青谷長尾鼻灯台利活用八良い（弥生）事業

### 高校生の地域学の授業に灯台プログラムを

高校で9回の連続授業（海保の灯台講義や灯台見学等）。学びを元にマンガを作成・配布



## 大バエ鼻灯台（長崎県平戸市）

事業名：灯台からのメッセージ・灯台マルシェ

### 「灯台マルシェ」を人々が集う新たな地域催事の場に

講演会、ワークショップ、灯台メニュー開発、地域の人々との協働で灯台マルシェ開催



## 野間埼灯台（愛知県美浜町）

事業名：野間埼灯台ポータル化プロジェクト

### 様々な灯台体験プログラム開発による拠点作り

周辺の施設整備検討、フォトサービスや自転車事業などの収益プログラム開発



## 樺島灯台（長崎県長崎市）

事業名：樺島灯台調査研究事業2022

### 恐竜博物館とつなぐ灯台体験メニューの開発

灯台の魅力を調査。それを生かした、灯台関連イベントの復活に取り組む（灯台まつり等）



## 出雲日御碕灯台・鷺浦灯台（島根県出雲市）

事業名：出雲日御碕灯台まるごと「パ」ークテラス！  
1st7カゴ灯台TERRACE

### 神話×灯台のストーリーによる観光ルート開発

灯台の成り立ちを日御碕神社や日本人設計者による建設の歴史から紐解き、ツアーを試験実施



## 沢崎鼻灯台 他（新潟県佐渡市）

事業名：佐渡の未来に光を灯す歴史と文化と恵みをつなぐ  
観光コンテンツ開発「SADO灯・ともしびプロジェクト」

### 12灯台を巡る体験プログラム開発の検討

島まるごと灯台調査を行い、地域の歴史や食と灯台設置の背景を学ぶツールやメニューを検討



## チキウ岬灯台 他（北海道室蘭市）

事業名：将来の事業活用に向けた北の灯台文化資源調査事業

### 灯台宿泊体験プログラムの検討

灯台と室蘭エリアの文化と名所を結びつけたツアーや体験、灯台周辺地での宿泊事業を検討



## 《 事業全体の仮説 》

「灯台利活用事業モデル」の取り組みを公募・実施支援して創出し、  
全国に横展開することで、灯台利活用を推進できるのではないかと

## 《 結果 》

今回の事業を通じ、12灯台のストーリー設定や、それを生かしたイベント等の企画・試験実施を行い、いくつかの事業モデルを創出できた。

しかし、灯台利活用を全国的に推進するためには、事業性、継続性の点において課題があることが分かった。

今後必要な取組みは、海上保安庁や財務省との協議や、灯台の利活用に企業や自治体が参加しやすくするための仕組みづくりおよび働きかけ、情報提供などである。

また、それらをスムーズに進めるために、灯台の歴史や役割、利活用の可能性に関する広報はより重要である。

## 2. 海と灯台サミット2022

## 日本の海を守ってきた灯台の歴史と魅力がわかる1日！

### 実施概要

＜開催日＞ 2022年11月5日（土）

＜場所＞ WITH HARAJUKU HALL

＜登壇者＞ MC：中田有紀

パネリスト：たかまつなな、不動まゆう、海野光行（日本財団 常務理事）

登壇者：笠井 信輔 ヴァンサン・ギグノー むー(千葉勉) ウェスギセイタ 安部龍太郎 阿部智里 門井慶喜  
子ども博士（航空写真博士、お城博士、海博士）、海野光行（日本財団 常務理事）

映像出演：笹川陽平（日本財団 会長）石井昌平（海上保安庁 長官）中村獅童 小松美羽

＜実施内容＞ 灯台の奥深い魅力や新たな可能性について、国内外の専門家や有識者・子ども博士・文化人らが映像や中継を交え、様々な角度から活発に意見を交わした。

また、トークセッションだけでなく、日本各地の灯台を繋ぎ、地元の灯台に関する取り組みを紹介するリレー中継も行い、全国へ向けたライブ配信も実施。併設の「海と灯台サミット特設ギャラリー（無料）」で、灯台関連展示するなど、灯台の新たな可能性を登壇者と参加者が一緒になって考えるイベントとなった。

### オープニング

映像出演：笹川会長の疑似中継と石井海保長官のスピーチ



### 灯台ウィーク 各地リレー中継



### ＜中継先＞

石川県（禄剛埼灯台）  
北海道（鷗島灯台）  
静岡県（御前埼灯台）

### テーマ①：灯台に与える 映像・メディアの力



会場でトークする笠井信輔さんとたかまつななさん、不動まゆうさん



映像出演の中村獅童さん、小松美羽さん

## テーマ②：世界の灯台は、どこに向かうのか？



様々な角度から多様性を話す、ギグノー氏、ムーさん、ウエスギケイタさん



## テーマ③ 灯台という物語を未来に届ける



安部龍太郎さん 阿部智里さん 門井慶喜さん登壇  
灯台を作家という立場から未来へ伝える

## テーマ④ 子ども博士が考える灯台の未来学



子ども博士（航空写真博士 鈴木陽心さん、お城博士 栗原響大さん、海博士 萩原一颯さん）

## 日本財団が考える灯台の未来デザイン



日本財団 海野光行常務理事が灯台の新たな可能性をグラフや資料を交えて分かりやすく説明

## 特設ギャラリー

